

第4回研究科セミナー(トランスフォーマティブ知識経営研究領域)

テーマ

「ソーシャルイノベーションのための共創プラットフォームとしてのリビングラボ:その実践と方法論研究」

講演者： 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター
主任研究員 赤坂 文弥 氏

日時： 令和6年7月24日(水) 15:00~18:00

場所： 知識科学研究棟Ⅲ棟 6階コラボレーションルーム3 及びオンライン (zoom)

下記 URL のフォームまたは QR コード
からお申込みください。

オンライン参加者には zoom の会議室情報
をお送りします。

【URL】 <https://forms.gle/Kg6yeAbeoohnuaNS9>



講演要旨：

近年、ソーシャルイノベーションや社会課題解決のためのアプローチとして、「リビングラボ」が注目を集めている。リビングラボとは、生活者との長期的な共創にもとづくデザインアプローチのことであり、欧州を中心に様々な実践が行われている。一方、リビングラボは非常に曖昧で捉えどころのない概念でもあり、その本質が十分に理解されていないケースも少なくない。また、リビングラボの実践を日本の社会文化的文脈の中で効果的に進めるための方法論も殆ど整備されていないのが現状である。

本講演では、リビングラボの定義や概念、方法論的特徴について解説するとともに、国内外の事例についても紹介する。また、リビングラボを、「ソーシャルイノベーションのための共創プラットフォーム」として捉え、その持続的かつ効果的な実践を支援するための方法論の構築と普及に関する研究成果も紹介する。

講演者略歴：

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 主任研究員。博士（工学）。2011年4月から2014年3月まで、日本学術振興会特別研究員（DC1）。2014年4月NTT サービスエボリューション研究所入社。その後、2021年4月産業技術総合研究所人間拡張研究センター入所、現在に至る。専門は、リビングラボ、サービスデザイン、デザイン学、サービス工学、設計工学。特に、共創的なアプローチでのデザイン実践を通じた方法論構築の研究を積極的に推進している。2012年日本機械学会若手フェロー賞、2019年および2022年ヒューマンインタフェース学会研究会賞受賞。北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）客員准教授、東京農工大学 客員准教授（連携大学院）。

お問合せ先：教授 西村 拓一 (Email: takuichi@jaist.ac.jp)